

平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況



平成19年8月1日

上場会社名 アイカ工業株式会社 上場取引所 東証・名証第一部
 コード番号 4206 URL <http://www.aica.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 修
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務企画部担当 (氏名) 阿久根 善裕 TEL (052)409-8261

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績(平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	22,561	0.2	1,929	10.1	2,017	9.2	1,177	3.0
19年3月期第1四半期	22,525	2.0	2,146	1.5	2,221	1.5	1,213	34.0
19年3月期	100,737		10,750		10,933		6,483	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	17	74	17	74
19年3月期第1四半期	18	28		
19年3月期	97	66		

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20年3月期第1四半期	88,277		65,003		73.0	970	21	
19年3月期第1四半期	85,080		60,236		70.1	898	84	
19年3月期	90,333		64,693		70.9	965	39	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年3月期第1四半期	1,794		1,020		886		14,685	
19年3月期第1四半期	991		1,315		901		16,102	
19年3月期	6,356		4,023		4,860		14,802	

2. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)【参考】

業績予想の見直しは行っておりません。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

[(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. その他をご覧ください。]

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、原油価格高騰の影響を受けたものの、好調な企業収益を背景に設備投資は増加し、雇用情勢の改善などにより個人消費も増加基調となるなど景気拡大が続きました。

建築業界におきましては、店舗などの非住宅市場が比較的順調であったものの、住宅市場は持家・分譲住宅の鈍化により総じて厳しい状況で推移いたしました。

このような経営環境にありまして当社グループは、原油価格をはじめとする資源価格高騰に伴う原材料の値上げに対処するため、製品価格の是正を進めるとともにグループをあげて生産効率の向上、コスト削減、経費削減に鋭意努めました。

（化成品セグメント）

環境配慮型商品である超低VOC（揮発性有機化合物）品の水系タイプや弾性タイプの接着剤、天然の土やガラスビーズを使用した塗壁材、環境性能・物理的性能に優れた塗床材などが好評でしたが、当セグメントは、原材料価格高騰の影響を受け、収益が圧迫されるなど厳しい状況が続きました。

（建装材セグメント）

機能・意匠に特長を持つメラミン化粧板は周辺商品とともに商業施設で多数採用され、壁装材商品では素材感を活かした不燃材商品が病院・老人保健施設、学校などで好評でした。反面、化粧合板は住宅着工減退の影響を受け住宅市場向けが低調でした。

（住器建材セグメント）

メラミン化粧板を使用した「メラフュージョンシリーズ」は高い意匠性が評価され売上げを伸ばすことができました。また、不燃化粧材「セラール」は住宅市場だけでなく、学校・病院・オフィスビルなど野丁場（大型施設等の大掛かりな工事）市場やリフォーム市場でも加工性や意匠性が評価され売上げを伸ばすことができました。

（電子セグメント）

プリント配線板は、高速伝送・電磁波障害対策・熱対策分野で試作開発からのサポート強化に努め高い評価を得ることができましたが、半導体メモリー市場の低迷などにより十分な成果をあげることができませんでした。

（その他セグメント）

保存剤および有機微粒子の化粧品向けは概ね堅調でしたが、プロジェクションテレビ向けの光拡散剤用は厳しい状況が続きました。

この結果、当第1四半期の連結業績は、売上高22,561百万円（前年同期比0.2%増）、経常利益2,017百万円（前年同期比9.2%減）、四半期純利益1,177百万円（前年同期比3.0%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末は、総資産が前連結会計年度末に比べ2,056百万円減少しました。主な資産の減少は「受取手形及び売掛金」が2,862百万円減少したことなどによるものです。また、主な負債の減少は「支払手形及び買掛金」が1,730百万円減少したことなどであります。主な純資産の増減は、「剰余金の配当」により863百万円減少と「当四半期純利益」1,177百万円の増加などによるものです。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.1ポイント上昇し、73.0%となりました。

3. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

影響額が僅少なものにつき、一部簡便的な手続きを用いております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

平成19年度の法人税法改正に伴い、平成19年4月1日以降取得資産の減価償却の計算方法については、改正後の法人税法に定める方法によっております。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前第1四半期末 (平成18年6月30日現在)		当第1四半期末 (平成19年6月30日現在)		増減		(参 考) 前連結会計年度末 (平成19年3月31日現在)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
(資産の部)		%		%		%		%
流動資産								
現金及び預金	16,102		14,685		1,417	8.8	14,802	
受取手形及び売掛金	33,501		35,930		2,428	7.2	38,792	
たな卸資産	5,135		5,648		512	10.0	5,298	
その他	2,571		2,759		188	7.3	2,321	
流動資産合計	57,311	67.4	59,023	66.9	1,711	3.0	61,215	67.8
固定資産								
有形固定資産	16,076	18.9	16,585	18.8	508	3.2	16,369	18.1
無形固定資産	2,425	2.8	2,476	2.8	50	2.1	2,539	2.8
投資その他の資産	9,267	10.9	10,191	11.5	924	10.0	10,209	11.3
固定資産合計	27,769	32.6	29,253	33.1	1,484	5.3	29,118	32.2
資産合計	85,080	100.0	88,277	100.0	3,196	3.8	90,333	100.0
(負債の部)								
流動負債								
支払手形及び買掛金	14,757		16,032		1,274	8.6	17,762	
短期借入金	3,501		413		3,087	88.2	416	
その他	4,863		5,063		200	4.1	5,699	
流動負債合計	23,122	27.2	21,509	24.4	1,613	7.0	23,879	26.4
固定負債								
繰延税金負債	843		906		62	7.4	885	
退職給付引当金	374		331		42	11.5	337	
その他	503		526		23	4.6	537	
固定負債合計	1,722	2.0	1,764	2.0	42	2.5	1,760	1.9
負債合計	24,844	29.2	23,273	26.4	1,570	6.3	25,640	28.4
(純資産の部)								
株主資本								
資本金	9,891	11.6	9,891	11.2			9,891	10.9
資本剰余金	13,744	16.1	13,744	15.5	0	0.0	13,744	15.2
利益剰余金	36,659	43.1	41,381	46.9	4,721	12.9	41,066	45.5
自己株式	2,913	3.4	2,921	3.3	7	0.3	2,919	3.2
株主資本合計	57,382	67.4	62,096	70.3	4,714	8.2	61,783	68.4
評価・換算差額等								
その他有価証券評価差額金	2,258	2.7	2,284	2.6	25	1.1	2,273	2.5
繰延ヘッジ損益			3	0.0	3	0.0	0	0.0
為替換算調整勘定	34	0.0	23	0.0	10	31.0	32	0.0
評価・換算差額等合計	2,292	2.7	2,311	2.6	19	0.8	2,305	2.5
新株予約権			13	0.0	13	0.0		
少数株主持分	561	0.7	581	0.7	19	3.6	604	0.7
純資産合計	60,236	70.8	65,003	73.6	4,766	7.9	64,693	71.6
負債純資産合計	85,080	100.0	88,277	100.0	3,196	3.8	90,333	100.0

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第1四半期 自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日		当第1四半期 自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日		増 減		(参 考) 前連結会計年度 自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
売上高	22,525	100.0	22,561	100.0	35	0.2	100,737	100.0
売上原価	16,315	72.4	16,412	72.7	97	0.6	73,020	72.5
売上総利益	6,209	27.6	6,148	27.3	61	1.0	27,716	27.5
販売費及び一般管理費	4,062	18.1	4,218	18.7	156	3.8	16,966	16.8
営業利益	2,146	9.5	1,929	8.6	217	10.1	10,750	10.7
営業外収益	120	0.5	139	0.5	18	15.4	367	0.4
営業外費用	46	0.1	50	0.2	4	9.9	184	0.2
経常利益	2,221	9.9	2,017	8.9	203	9.2	10,933	10.9
特別利益	7	0.0	31	0.2	23	330.3	91	0.1
特別損失	148	0.7	3	0.0	144	97.3	291	0.3
税金等調整前 四半期(当期)純利益	2,080	9.2	2,045	9.1	35	1.7	10,732	10.7
法人税、住民税及び事業税	1,029	4.6	986	4.4	42	4.2	4,177	4.2
法人税等調整額	195	0.9	138	0.6	57	29.5	12	0.0
少数株主利益	33	0.1	18	0.1	14	43.6	84	0.1
四半期(当期)純利益	1,213	5.4	1,177	5.2	35	3.0	6,483	6.4

(3) (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

前第1四半期(自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算 差額等合計	少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計			
平成18年3月31日残高	9,891	13,744	36,390	2,913	57,113	2,666	549	60,328
当四半期の変動額								
剰余金の配当 (注)			863		863			863
役員賞与金 (注)			81		81			81
四半期純利益			1,213		1,213			1,213
自己株式の取得				0	0			0
自己株式の処分		0		0	0			0
株主資本以外の項目の 当四半期の変動額(純額)						373	11	362
当四半期の変動額合計		0	269	0	269	373	11	92
平成18年6月30日残高	9,891	13,744	36,659	2,913	57,382	2,292	561	60,236

(注)第106期の利益処分によるものであります。

当第1四半期(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算 差額等合計	新株予約権	少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計				
平成19年3月31日残高	9,891	13,744	41,066	2,919	61,783	2,305		604	64,693
当四半期の変動額									
剰余金の配当			863		863				863
四半期純利益			1,177		1,177				1,177
自己株式の取得				1	1				1
自己株式の処分		0		0	0				0
株主資本以外の項目の 当四半期の変動額(純額)						5	13	22	3
当四半期の変動額合計		0	314	1	313	5	13	22	309
平成19年6月30日残高	9,891	13,744	41,381	2,921	62,096	2,311	13	581	65,003

前連結会計年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算 差額等合計	少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計			
平成18年3月31日残高	9,891	13,744	36,390	2,913	57,113	2,666	549	60,328
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当 (注)1			1,726		1,726			1,726
役員賞与金 (注)2			81		81			81
当期純利益			6,483		6,483			6,483
自己株式の取得				6	6			6
自己株式の処分		0		0	0			0
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						360	54	305
連結会計年度中の 変動額合計		0	4,676	6	4,670	360	54	4,364
平成19年3月31日残高	9,891	13,744	41,066	2,919	61,783	2,305	604	64,493

(注)1剰余金の配当は、第106期の利益処分及び第107期の中間配当によるものであります。

2役員賞与は、第106期の利益処分によるものであります。

(4) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

区分	前第1四半期	当第1四半期	(参考) 前連結会計年度
	自平成18年4月1日 至平成18年6月30日	自平成19年4月1日 至平成19年6月30日	自平成18年4月1日 至平成19年3月31日
金額	金額	金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,080	2,045	10,732
減価償却費	467	646	2,217
賞与引当金の増減額(減少:)	543	566	12
売上債権の増加額(増加:)	1,788	2,857	3,494
たな卸資産の増減額(増加:)	388	378	543
その他流動資産の増減額(増加:)	405	272	256
仕入債務の増減額(減少:)	1,183	1,723	1,808
その他流動負債の増減額(減少:)	226	236	114
その他	48	99	139
小計	3,177	3,879	10,451
法人税等の支払額	2,273	2,153	4,186
その他	87	68	91
営業活動によるキャッシュ・フロー	991	1,794	6,356
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	660	788	1,945
有形固定資産の売却による収入	4		102
無形固定資産の取得による支出	479	248	1,016
投資有価証券の取得による支出	163	2	972
その他	16	18	192
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,315	1,020	4,023
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(減少:)			3,095
配当金の支払額	863	863	1,725
その他	38	23	39
財務活動によるキャッシュ・フロー	901	886	4,860
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	4	3
現金及び現金同等物の増加額(減少:)	1,231	117	2,531
現金及び現金同等物の期首残高	17,334	14,802	17,334
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	16,102	14,685	14,802

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期(自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)

(単位：百万円)

	化成品	建装材	住器建材	電子	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益								
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	6,139	6,803	7,279	1,769	532	22,525		22,525
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替高	672	985				1,657	(1,657)	
計	6,811	7,789	7,279	1,769	532	24,183	(1,657)	22,525
営業費用	6,496	6,461	6,529	1,620	468	21,576	(1,197)	20,378
営業利益	315	1,327	750	149	64	2,606	(459)	2,146

当第1四半期(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

(単位：百万円)

	化成品	建装材	住器建材	電子	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益								
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	6,171	6,616	7,537	1,706	530	22,561		22,561
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替高	609	(注) 567				1,177	(1,177)	
計	6,781	7,184	7,537	1,706	530	23,738	(1,177)	22,561
営業費用	6,581	6,081	6,531	1,583	488	21,266	(634)	20,631
営業利益	199	1,103	1,006	122	41	2,472	(543)	1,929

(注) 内部売上高が大幅に減少している要因は、当社の「建装材セグメント」で生産しておりました住器建材セグメント製品の構成品について、連結子会社での増産設備完成にともない住器建材製品として一貫生産が可能となり、「建装材セグメント」から「住器建材セグメント」への内部移動がなくなったことによるものです。

(参考)前連結会計年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

(単位：百万円)

	化成品	建装材	住器建材	電子	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益								
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	27,464	30,720	33,591	7,046	1,915	100,737		100,737
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替高	2,760	4,064				6,824	(6,824)	
計	30,224	34,784	33,591	7,046	1,915	107,562	(6,824)	100,737
営業費用	28,326	28,621	29,626	6,491	1,665	94,729	(4,742)	89,987
営業利益	1,898	6,163	3,964	555	249	12,832	(2,082)	10,750

(注) 1. 事業区分の方法及び各区分に属する主要な製品の名称

事業区分は、製品の種類、販売市場等を勘案し行っており、各事業区分の主要製品は次のとおりであります。

化成品 外装・内装仕上塗材、塗床材、塗壁材、各種接着剤

建装材 メラミン化粧板、化粧合板

住器建材 玄関・室内用ドア、インテリア建材、カウンター、収納扉、不燃化粧材

電子 プリント配線板、電子システム商品、電子材料

その他 保存剤、他

2. 前第1四半期連結会計期間、当第1四半期連結会計期間及び前連結会計年度における営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、459百万円、543百万円及び2,079百万円であり、その主なものは、一般管理部門(人事、総務、経理部門等)に係る費用であります。

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期及び当第1四半期

全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める日本の割合がいずれも90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第1四半期及び当第1四半期

海外売上高は連結売上高の10%未満であるので記載を省略しております。